



平成 28 年度
編入学試験
学生募集要項

横浜国立大学理工学部

平成 27 年 4 月

目次

編入学試験日程の概要	1
横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 募集人員	5
2. 編入学の時期及び修学条件	6
3. 出願と併願について	6
4. 出願にあたっての注意事項	6
5. 高等専門学校編入学	6
6. 学士編入学	9
7. 合格者発表	11
8. 入学検定料	11
9. 入学手続	11
10. 既修得単位認定	12
11. 障害等のある入学志願者の事前相談について	12
12. 個人情報の取り扱いについて	13
交通案内図	14
キャンパス案内図	15

添付書類

この要項には、下記の本学所定の書類が添付されています。

1. 出願書類等送付内訳書（高等専門学校編入学用・学士編入学用）
2. 志願票
3. 受験票・写真票
4. 推薦書
5. 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
6. 入学検定料払込取扱票（検定料 30,000 円）
7. 返信用封筒（速達用長形 3 号）
8. 住所・氏名記入用紙（シール）
9. 出願用封筒（書留速達用角形 2 号）

編入学試験日程の概要

出願期間：平成27年5月22日（金）～28日（木）

試験期日：平成27年7月11日（土）

合格発表：平成27年7月29日（水）13時頃

入学手続日程

入学式日程

詳細は平成28年3月中旬まで
送付の入学手続書類参照

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます

真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めます。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神 - 実践性・先進性・開放性・国際性 - を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

本学の詳細な教育目標・方針については、本学WEBサイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

【理工学部の教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

学科及び教育プログラムの入学者受入方針

機械工学・材料系学科

機械工学または材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。

<機械工学教育プログラム>

- ・現代の快適で安全な社会を支える自動車、航空機、ロボット、エネルギー機器、福祉・医療機器などの各種機械や、そのシステムに興味を持つ人
- ・未来社会を担う革新的な機械を創り出したい人、また人類が抱えるエネルギー・環境などの諸問題を新しい技術により解決したい人

化学・生命系学科

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

<化学教育プログラム>

化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

<化学応用教育プログラム>

化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

建築都市・環境系学科

建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

<建築教育プログラム>

- ・建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人
- ・自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・都市の歴史的変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを实践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

<都市基盤教育プログラム>

- ・自然環境との調和や共生など地球的観点にたつてより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

数物・電子情報系学科

数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。

<電子情報システム教育プログラム>

- ・電気、電子、通信、情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- ・高度情報化社会を支える新しい先端的技術を創り出すことを目指す人

<情報工学教育プログラム>

- ・情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する強い意欲をもった人
- ・人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

平成 28 年度横浜国立大学理工学部

編入学入試学生募集要項

本学部の編入学試験は、編入学年次によって学生の募集を行い、3 年次編入学では「高等専門学校編入学」、2 年次編入学では建築都市・環境系学科建築教育プログラムのみ「高等専門学校編入学」と「学士編入学」の選抜を行います。

1. 募集人員

3 年次編入学

学科名（教育プログラム名）	募集人員	
	高等専門学校 編入学	学 士 編入学
機械工学・材料系学科（機械工学教育プログラム）	若干名	
化学・生命系学科（化学教育プログラム）	若干名	
化学・生命系学科（化学応用教育プログラム）	若干名	
建築都市・環境系学科（都市基盤教育プログラム）	若干名	
数物・電子情報系学科（電子情報システム教育プログラム）	若干名	
数物・電子情報系学科（情報工学教育プログラム）	若干名	

2 年次編入学

学科名（教育プログラム名）	募集人員	
	高等専門学校 編入学	学 士 編入学
建築都市・環境系学科（建築教育プログラム）	若干名	若干名

【備考】以下の教育プログラムでは、編入学の募集を行いません。

募集を行わない学科名（教育プログラム名）
機械工学・材料系学科（材料工学教育プログラム）
化学・生命系学科（バイオ教育プログラム）
建築都市・環境系学科（海洋空間のシステムデザイン教育プログラム、地球生態学教育プログラム）
数物・電子情報系学科（数理科学教育プログラム、物理工学教育プログラム）

2. 編入学の時期及び修学条件

- (1) 編入学の時期は平成 28 年 4 月とします。
- (2) 学士の学位を得るには、第 3 年次編入の場合は 2 年以上、第 2 年次編入の場合は 3 年以上在学し、本学所定の授業科目及び単位数を修得し、かつ、GPA (Grade Point Average) の基準を満たした上、理工学部が定める卒業の審査に合格する必要があります。なお、認定される単位数によっては、2 年間または 3 年間で卒業できない場合があります。修学条件について不明な点等がある場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

3. 出願と併願について

出願できるのは 1 つの学科・教育プログラムに限られ、また、3 年次編入と 2 年次編入を併願することはできません。出願について不明な点等がある場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 志願票の「連絡先」の欄には、大学からの通知が確実に届く宛先（日本国内に限る）を明記してください。なお、電話番号が呼出しの場合は「呼出」と明記してください。また、出願後「連絡先」及び「電話番号」を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して理工学系大学院等入試係に届け出てください。
- (2) 志願票及び受験票・写真票の該当事項は で囲み、 印の箇所は記入しないでください。
- (3) 出願書類の記載事項に記入漏れやその他の不備がある場合は受理しません。
- (4) 出願書類等で厳封するよう指示があるものは、必ず発行機関にて厳封された状態で提出してください。厳封されていない場合には受理しません。
- (5) 出願後の書類内容及び志望先の変更は認めません。出願にあたっては、提出書類に記入漏れや誤りがないか十分注意してください。
- (6) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。なお、受理された出願書類等は一切返却しません。
- (7) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。
- (8) 平成 28 年 3 月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、合格を取り消します。
- (9) 出願書類を受理した者に対して、出願受付期間終了後「受験票」及び「受験上の注意」を郵送します。6 月 15 日（月）までに到着しない場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

5. 高等専門学校編入学

(1) 出願資格

次の基礎資格を有し、かつ要件を満たす者

【基礎資格】

学校教育法第 115 条に定める高等専門学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者

【要件：機械工学・材料系学科、化学・生命系学科、数物・電子情報系学科】

平成 25 年 7 月以降に実施された TOEFL 又は TOEIC を受験している者

（建築都市・環境系学科建築 EP、都市基盤 EP は除く）

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、4. 出願にあたっての注意事項をよく読んで、本学所定の出願用封筒を使用して書留速達で郵送してください（受付は郵送に限る）。

(3) 出願期間

平成 27 年 5 月 22 日（金）から 5 月 28 日（木）まで必着

上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔5 月 28 日（木）〕を過ぎて到着した出願書類のうち、5 月 27 日（水）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(4) 出願書類

提出書類等	摘 要
志願票	本学所定用紙に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入し、出願日前3か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで、同一の写真(縦4cm×横3cm)を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。なお、写真の裏面に氏名を記入のうえ貼付してください。
成績証明書	高等専門学校長が作成し 厳封したもの 。
卒業証明書又は卒業見込証明書	高等専門学校長が作成したもの。
推薦書	本学所定用紙により、推薦する理由・学内外における諸活動等について、高等専門学校の指導教員が作成したもの。
TOEFL 又は TOEIC の成績証明書の 本紙 * ₁	次のア・イのいずれかを提出してください。 <u>ア TOEFL の成績証明書を提出する場合</u> 平成25年7月以降に実施された TOEFL のスコアを試験実施機関 EDUCATIONAL TESTING SERVICE(ETS)から直接横浜国立大学に送付する手続きをしてください。横浜国立大学のコード番号は 0410 です。出願期間内に必着するよう早めに手続きをしてください。TOEFL-ITP(団体向けテスト)のスコアについては、受付できません。 <u>イ TOEIC の成績証明書を提出する場合</u> 平成25年7月以降に実施された TOEIC テストの受験結果「Official Score Certificate」(公式認定証)を上下切り離さずに提出してください。(ホームページからダウンロードしたものは受付できません) TOEIC-IP テスト(団体特別受験制度)によるスコアレポート(個人成績表)は、受け付けできません。後日、TOEIC の成績証明書の 本紙 を受験票と共に返却します。
入学検定料	払込金額 30,000 円 払込方法の詳細については、「8.入学検定料」(p.11)を参照してください。 <u>日本国政府国費外国人留学生については、検定料は不要ですので提出する必要はありません。</u> 注：本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html を確認してください。
日本国政府国費外国人留学生であることを証明する書類	日本国政府国費外国人留学生のみ、高等専門学校からの支給期間を含む国費外国人留学生証明書を出身学校所定の用紙により提出してください。
返信用封筒	1 通 本学所定の返信用封筒(長形3号)に372円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。
住所・氏名記入用紙(シール)	1 枚 合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入してください。

*₁ 建築都市・環境系学科(建築EP、都市基盤EP)については不要です。

(5) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績及び推薦書を総合して行います。
 (建築都市・環境系学科の建築 EP、都市基盤 EP については、学力検査、面接、成績証明書及び推薦書を総合して行います。)

受験者は、指定する試験教科・科目等をすべて受験してください。1 つでも受験していない者は、合格者とはなりません。

A. 試験教科・科目等

学科名 (教育プログラム名:EP)	基礎科目	専門科目	面接 試験
機械工学・材料系学科 (機械工学 EP)	数学 物理	材料力学、流体力学、熱力学の計 3 問	
化学・生命系学科 (化学 EP)	数学 物理 化学	無機化学、有機化学、物理化学、分析化学	
化学・生命系学科 (化学応用 EP)			
建築都市・環境系学科 (建築 EP) * ₁		建築史、建築計画、建築構造学、建築構造力学、建築生産、建築環境工学、建築設計製図 * ₂	
建築都市・環境系学科 (都市基盤 EP) * ₁		「土木基礎数学(全 3 問)」から 2 問を選択し、さらに「構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学(各 2 問計 10 問)」のうち 4 問を選択する	
数物・電子情報系学科 (電子情報システム EP)	数学 物理	電磁気学、電気回路、論理回路、電子工学、アルゴリズムの 5 科目から 4 科目を選択する	
数物・電子情報系学科 (情報工学 EP)		論理回路、アルゴリズム、プログラミング	

*₁ 建築都市・環境系学科(建築 EP、都市基盤 EP)については基礎科目試験を行いません。

*₂ 建築都市・環境系学科(建築 EP)を志願する者は、自作であることを証明できる建築設計の作品 2 点を試験当日に持参してください。その作品をもって建築設計製図の試験に代えます。

自作であることの証明は、学校の検印(図面に直接押印されたもの)、指導教員による証明書、コンペの応募控え(原本)等とします。

B. 面接の内容

学科名 (教育プログラム名:EP)	面接の内容
機械工学・材料系学科 (機械工学 EP)	ものづくりや自然科学に関する興味と姿勢、健全な大学生活を送るうえでの意欲などを評価します。
化学・生命系学科 (化学 EP)	ものづくりや自然現象に関する興味、数学・理科及び英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性などを評価します。
化学・生命系学科 (化学応用 EP)	
建築都市・環境系学科 (建築 EP)	志望動機と学問に対する姿勢、問題解決能力、自己表現能力などを評価します。
建築都市・環境系学科 (都市基盤 EP)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。
数物・電子情報系学科 (電子情報システム EP)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。
数物・電子情報系学科 (情報工学 EP)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、情報工学への関心の深さ及び関連する基礎知識、自己表現能力などを評価します。

(6) 試験日程

試験日時及び試験場

試験日	学科名(教育プログラム名:EP)	試験時間及び試験科目		
		9:00~11:00	12:00~14:00	16:00~
平成27年7月11日(土)	化学・生命系学科(化学EP)	基礎科目	専門科目	面接
	化学・生命系学科(化学応用EP)			
	建築都市・環境系学科(建築EP)			
		9:00~10:20	12:00~14:00	16:00~
	機械工学・材料系学科 (機械工学EP)	基礎科目	専門科目	面接
	数物・電子情報系学科 (電子情報システムEP)			
	数物・電子情報系学科 (情報工学EP)			
		9:00~12:00	14:00~	
	建築都市・環境系学科 (都市基盤EP)	専門科目	面接	
	試験場	横浜国立大学理工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)		

6. 学士編入学(建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)のみ実施)

(1) 出願資格

次のいずれかに該当する者。

大学を卒業し学士の学位を有する者及び平成28年3月までに卒業し学士の学位を授与される見込みの者。

独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者。

外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者。

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、4. 出願にあたっての注意事項(p.6)をよく読んで、本学所定の出願用封筒を使用して書留速達で郵送してください。(受付は郵送に限る)

(3) 出願期間

平成27年5月22日(金)から5月28日(木)まで必着

上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔5月28日(木)〕を過ぎて到着した出願書類のうち、5月27日(水)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(4) 出願書類

提出書類等	摘 要	
志願票	本学所定用紙に必要事項を記入してください。	
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入し、出願日前3か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで、同一の写真(縦4cm×横3cm)を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。なお、写真の裏面に氏名を記入のうえ貼付してください。	
成績証明書	学校長等が作成し 厳封したもの 。	
卒業証明書又は卒業見込証明書	該 当 者 の み	出身学校長が発行したもの。 (1) 出願資格 及び で出願する者のみ。
学位授与証明書		独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、学士の学位を授与された者のみ。
学位授与申請受理証明書		独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、大学評価・学位授与機構に学位申請中の者のみ。
学位授与申請予定証明書		在籍学校長が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、専攻科修了見込みの者のみ。
入学検定料	払込金額 30,000 円 払込方法等の詳細については、「8. 入学検定料」(p.11)を参照してください。 注：本学では、災害等で被災した受験生の進学の機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html を確認してください。	
返信用封筒	1 通 本学所定の返信用封筒(長形3号)に372円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。	
住所・氏名記入用紙(シール)	1 枚 合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入してください。	

(5) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び成績証明書を総合して行います。

受験者は、指定する試験教科・科目等をすべて受験してください。1つでも受験していない者は、合格者とはなりません。

A. 試験教科・科目等

学科名(教育プログラム名:EP)	基礎科目	面接試験
建築都市・環境系学科(建築EP)	「数学、物理、化学」または「小論文」* ₁	

*₁ 小論文の内容：志望分野を中心とした一般的知識、論理的思考能力、表現力を評価します。

B. 面接の内容

学科名(教育プログラム名:EP)	面接の内容
建築都市・環境系学科(建築EP)	志望動機と学問に対する姿勢、問題解決能力、自己表現能力などを評価します。

(6) 試験日程

試験日時及び試験場

試験日	学科名(教育プログラム名:EP)	試験時間及び試験科目	
		9:00~11:00	15:00~
平成27年7月11日(土)	建築都市・環境系学科(建築EP)	基礎科目	面接
試験場	横浜国立大学理工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)		

7. 合格者発表

平成27年7月29日(水)13時頃

本学ホームページ (<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>) に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね4日間程度とします。

8. 入学検定料

(1) 入学検定料の払込について

払込金額 30,000円

払込期間 出願期間に間に合うように払込んでください。

払込場所 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口(ATMは使用不可)

払込方法

ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。(志願票の氏名と照合します。)

イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。

ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

(2) 日本国政府国費外国人留学生の入学検定料について

日本国政府国費外国人留学生については、入学検定料は不要です。但し、出願時に、出身学校所定の用紙により、国費外国人留学生であることを証明する(高等専門学校からの支給期間を含む)書類を提出してください。

(3) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

入学検定料の返還請求ができるもの

ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部編入学試験に出願しなかった場合

イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合

返還する入学検定料の金額

志願者の申し出により、30,000円を返還します。

返還請求の方法

上記のア.またはイ.に該当する場合は、理工学系大学院等入試係に連絡してください。連絡があった後に「入学検定料返還請求書」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。ウ.の場合は、出願書類等返却の際に「入学検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

1 入学検定料返還請求願(様式は問わない)に記載する項目

a. 返還請求の理由 b. 氏名(ふりがな) c. 現住所 d. 連絡先電話番号

2 送付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

9. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送(書留速達)により入学手続期間に入学手続を行ってください。なお、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

入学手続の詳細は、入学手続書類(平成28年3月中旬まで送付予定)で指示します。

(1) 入学手続時に必要な入学料及び入学後に必要な授業料

入学料 282,000円〔現行額〕

授業料 年額 535,800円〔現行額〕

〔注1〕入学料及び授業料は改定される場合があります。

〔注2〕在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

〔注3〕詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

(2) 入学手続に関する留意事項

入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

10. 既修得単位認定

入学手続以降、教務委員との面談等を通じ、出身学校において修得した単位の全部または一部を各学科（教育プログラム）に設定された授業科目の履修とみなし、卒業要件の単位として認定します。

11. 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず以下の連絡先に事前に相談してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者についても、受験及び修学上で特別な配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

【申請方法及び連絡先】

- (1) 申請は、様式例を参考に申請書を作成し、診断書又は身体障害者手帳（写）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
横浜国立大学理工学系大学院等入試係
電話番号 045-339-3821/3822

【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

氏 名(ふりがな)

生年月日

住 所 〒

電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科・教育プログラム・出願する入試名
2. 障害等の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項
5. その他

(添付書類) 診断書又は身体障害者手帳(写)、その他参考資料

12. 個人情報の取り扱いについて

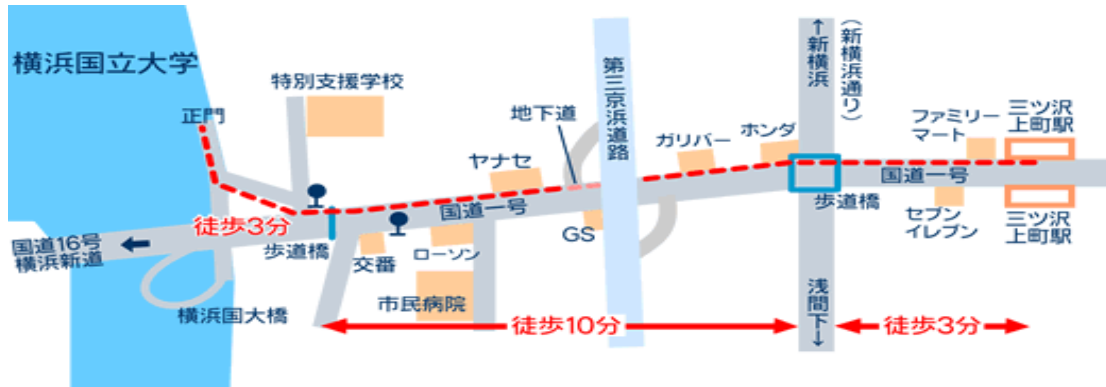
個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。
- (2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

交通案内図

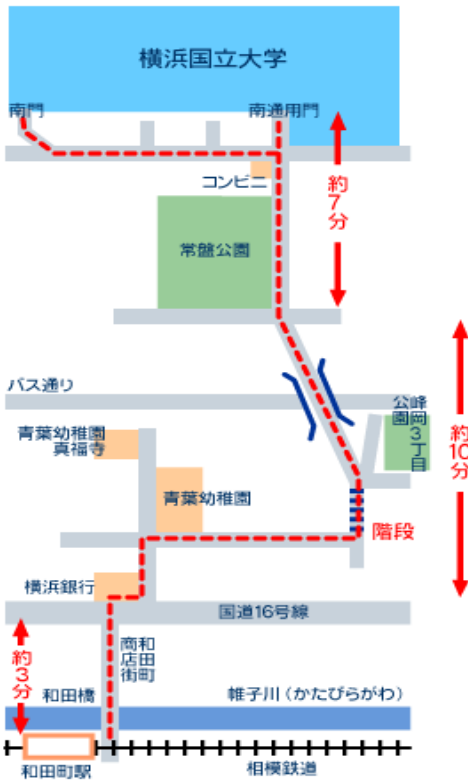
横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口) → 正門へ



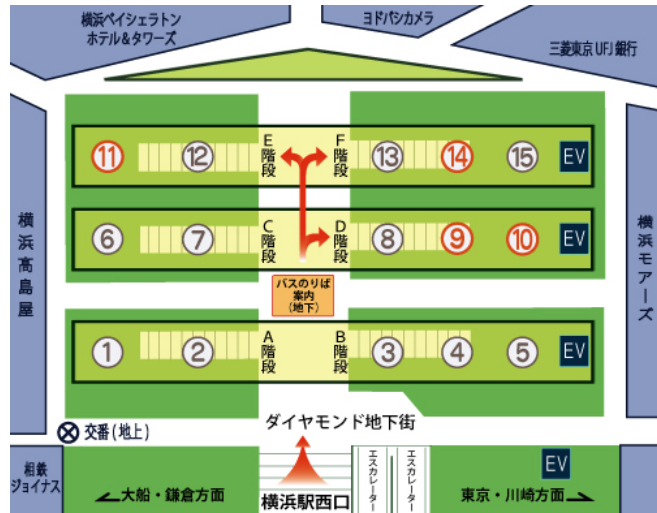
相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所 (平日のみ)



横浜市営バス	【下車停留所】
番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 【急行】 329 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	又は
相鉄バス	「国大北 (平日のみ)」
番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」	「国大西 (平日のみ)」
番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	
神奈中バス	
番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。(平日のみ利用可能)

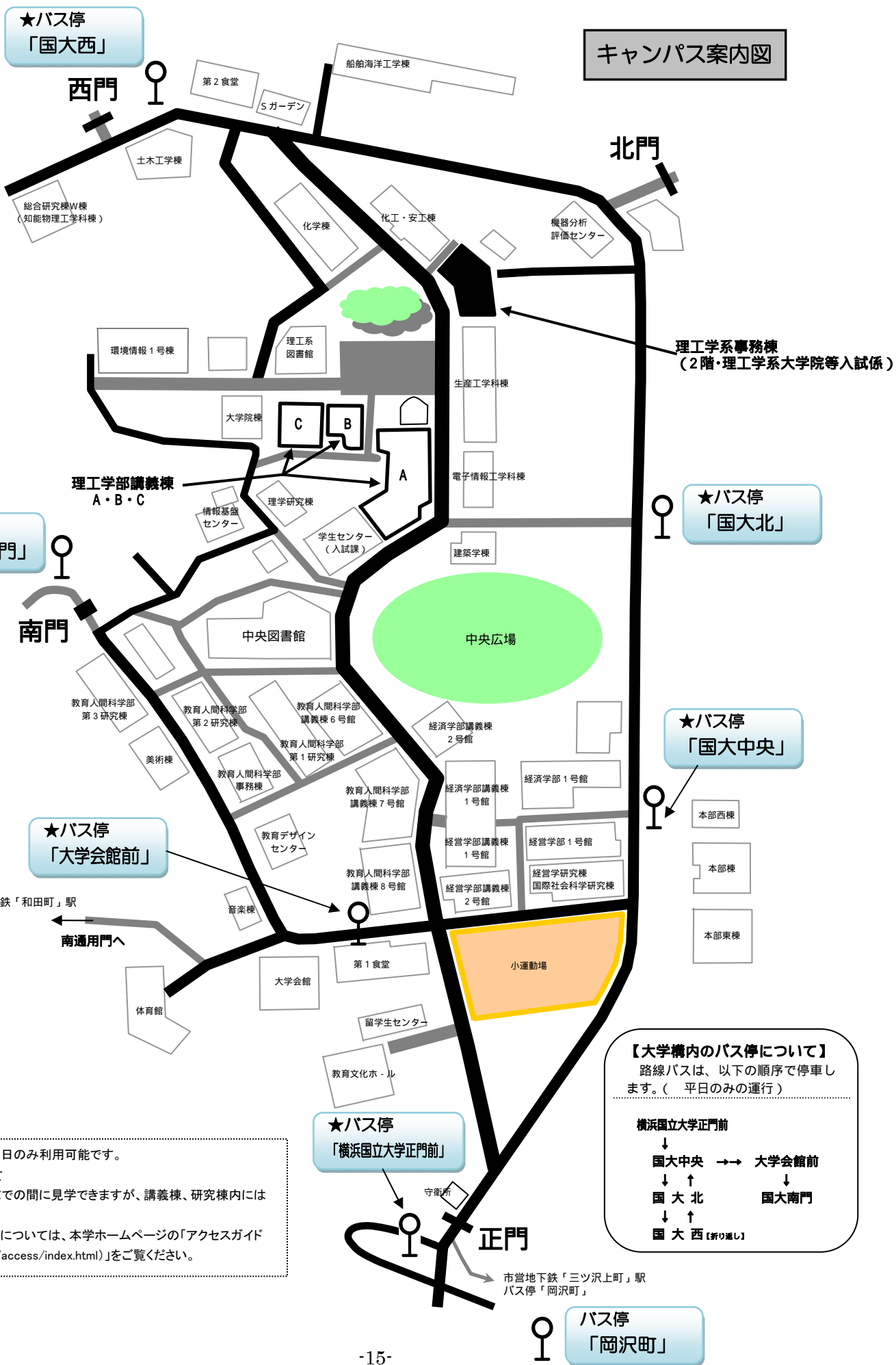
注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認してください。

注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。

注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。

注 4 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないことがありますので、試験当日は 又は による徒歩を奨励します。

キャンパス案内図



理工学系事務棟
(2階・理工学系大学院等入試係)

★バス停
「国大北」

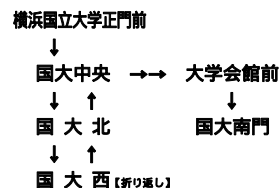
★バス停
「国大中央」

★バス停
「学生会館前」

★バス停
「横浜国立大学正門前」

バス停
「岡沢町」

【大学構内のバス停について】
路線バスは、以下の順序で停車します。(平日のみの運行)



※★印のバス停は、平日のみ利用可能です。
 ※構内の見学について
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
 ※アクセス方法の詳細については、本学ホームページの「アクセスガイド」(<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>)をご覧ください。

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

- ・ 横浜国立大学 ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/ynu/>



<お問い合わせ先>

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

〔窓口取扱時間〕 8:30～12:45, 13:45～17:00 (平日)

土日・祝日及び年末年始(12/29～1/3)は休業です。

TEL : 045-339-3821, 3822

FAX : 045-339-3819

E-mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に
原則として志願者本人が問い合わせてください。